2021/04/19（月）

朝の礼拝

聖書　ルカによる福音書 24章13-18節（新約聖書160頁）

　ちょうどこの日、二人の弟子が、エルサレムから六十スタディオン離れたエマオという村へ向かって歩きながら、この一切の出来事について話し合っていた。話し合い論じ合っていると、イエス御自身が近づいて来て、一緒に歩き始められた。しかし、二人の目は遮られていて、イエスだとは分からなかった。イエスは、「歩きながら、やり取りしているその話は何のことですか」と言われた。二人は暗い顔をして立ち止まった。その一人のクレオパという人が答えた。「エルサレムに滞在していながら、この数日そこで起こったことを、あなただけはご存じなかったのですか。」

わからなくても

　大学に合格した時、照れくさくて「運が良かったからです」と言ったら、牧師さんから「神様の導きだよ」と言われました。また、赴任先の学校が直前で変更された時、ある信者さんから「先生、それは何か意味があると思うから、まず行って下さい」と言われました。

　最初は神様の導きも、その意味もわかりません。しかしわからなくても、信じました。そして残念な結果になったとしても、その意味は後でわかります。信じるというのは、聖書の言葉に耳を傾け、祈ることを通して、神様の導きの意味を心で感じることです。

　イエスが十字架にかけられ死んだ後、三日目に復活されたという話を聞いた二人の弟子が、エルサレムからエマオへ向かっていました。二人はその出来事を話し合い論じ合っていましたが、信じられませんでした。だからイエスが近づき、一緒に歩き始められても、二人の目は遮られて、イエスだとはわからなかったのです。

英和女学院での学びが始まりました。入学・転入された新入生の皆さん、進級された皆さん、そして新たなステージへ向って準備している「黄色」の皆さん、イエスは目標に向かって努力し、学び、慰め、励まし合う皆さんと一緒に歩き始められています。今はまだその結果も意味もわかりませんが、導いて下さっています。

（しばらく黙祷しましょう）

英和女学院、英和生を愛し、励まされる主よ。
弟子たちは目が遮られ、あなたがわかりませんでした。でもあなたの方から弟子たちに近づき、一緒に歩いて下さいました。どうかわたしたちの心を励まし、あなたの導きを信じ、あなたと共に歩ませて下さい。今日一日もすべてをあなたに委ね、安全で健康な学校生活をお守り下さい。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン